



**Big Brothers
&
Sisters Movement**

ともだち

発行：特定非営利活動法人日本BBS連盟事務局

〒151-0051 渋谷区千駄ヶ谷5-10-9 更生保護会館内 TEL 03(3356)7383 FAX 03(3356)7610

Vol.217

2019

(H31年)

1月

川内せんだいBBS
@sendai_bbs

新年明けましておめでとうございます。
今年も、たくさんの方の活動をして
たくさんの人に出会い
川内から鹿児島から、BBSを
ますます盛り上げていきたいと思います。
今年も、何卒よろしくお願ひいたします。

2018-2019年1月31日

福岡地区BBS会
@fukuoka_bbs

みなさま、あけましておめでとうございます。
本年もどうぞよろしくお願ひいたします！

2018-2019年12月31日

島根県立大学BBSサークル
@isigen_bbs

あけましておめでとうございます。
2018年多くの方に支えられ、無事一年間活動を続けてこれました。ありがとうございます。
2019年も島根県立大学BBSサークルを何卒よろしくお願ひいたします。

島根県立大学BBSサークル 会員一同

10.19-2018年12月31日

久留米大学BBS会
@kyuromi_bbs

あけましておめでとうございます。
本日より第20代久留米大BBS会が始まります。

まだ右も左も分からぬ私達ですが、精一杯全力で活動に努めてまいりますので、他のBBS会やボランティア団体の皆様、本年度も引き続きよろしくお願ひいたします。

会長

10.11-2018年12月31日

全国各地のBBS会からの新年のご挨拶です。

Facebookやtwitterに投稿されたものから抜粋・加工しました。

本年もよろしくお願ひいたします。

編集委員一同



<千羽鶴>
北海道連盟合
同製作で日本最
北(稚内市)の
第31回平和折
り鶴祭り(平和
教育の一環)に
4連盟各250羽
鶴を折り、稚内
で仕上げ7月30
日～8月16日
まで展示されま
した。

2019年 年初のごあいさつ

2019年1月1日
@takemoto

このブログをご覧になっていたいいる読者の皆様、
また、なまらに平素よりお世話になっておりますみなさま。
明けましておめでとうございます。会員の本間です。

2019年初日に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は三島地区として日本BBS連盟より表彰されるなど、
節目の年となりました。
これもまた地道な活動を続けてきたこと、それを続けられた
のも関係機関ならびに地域の皆様の支えがあったからこそ
と思います。

2019年もコツコツと活動を続けていけたらと考えています。

本年もどうぞよろしくお願ひいたします。

三島地区BBS会 会長 本間雄大

改めまして、あけましておめでとうございます。

年も明け、日々に寒さが差してきておりますが、いかがお過ごしでしょうか。

さて、年末も押し迫った昨年12月30日、日頃よりお世話になっております児童養護施設「静岡県立明石園児童部」のちちづきに参拝してまいりました。入り時間は毎日0時! 間違はず。暖かい年末の冬空です。



dubbs あけましておめでとうございます
令和元年、大変お世話になりました!
新入生歓迎会や海辺での花火、DCU祭などた
くさん楽しい思い出ができてとても嬉しい年
でした! 今年も楽しんで活動していきたいで
す! 今年もよろしくお願ひします昌
#2018ありがとうございました
#2019よろしくお願ひします
#BBS



田園調布学園BBSサークル



* * * も < じ * * *

札幌市BBS会
1月1日 0:15

1月1日 (火・祝)
(新年のご挨拶)

新年あけましておめでとうございます。

昨年は活動の量を例年以上に増やすことができ、飛躍の一年になりました。

今年も会のより一層の発展のため、全ての会員が一致団結して更生保護活動に邁進していきます。

本年もどうぞ宜しくお願ひ致します。



も いいね!

・ 地方別BBS大会(北海道・東北・中部・近畿・中国)	2-4
・ 早稲田大学広域BBS会の20年	5
・ 日本・中国青年親善交流事業参加報告	6-7
・ 皆さんこんにちは(外国人留学生のBBS活動、学習支援)	8
・ お知らせのページ・ユースフォーラム	9
・ お知らせのページ・「チャイルド・ユース・サポート章」他	10
・ お知らせのページ・無尽灯他	11
・ お知らせのページ・編集後記	12



今回は、北海道・東北・中部・近畿・中国の各地連大会の報告です。

東北

東北地方 BBS 連盟設立 60 周年記念

第 60 回東北地方 BBS 大会・平成 30 年度東北管内地方別 BBS 会員研修会

宮城県 BBS 連盟 事務局長 石川麗子

標記の大会・研修会が、平成 30 年 6 月 9 日(土)～10 日(日)、宮城県岩沼市の「東京第一ホテル 岩沼リゾート」で、BBS 会員 96 名、関係機関・団体の代表者 21 名の参加のもと開催されました。

今回は、東北地方 BBS 連盟が設立 60 周年という記念すべき年に当たり、日本 BBS 連盟の戸田会長をお迎えして開催できたことは大変意義深いものがありました。また、BBS 連盟の長く濃い歴史を感じ、今後の発展に努めていくこと、より一層強く感じられる大会でもありました。

1 日目は、東北福祉大学の半澤利一准教授を講師にお招きし、「ネットいじめ・アンガーマネジメント」「ともだち活動と学習支援」について班ごとにディスカッションが行われました。様々な考え方や意見が班内で出され、今後の各地区での活動に生かしていく内容になりました。また、本研修会はスキルアップ研修も兼ねていることから、再犯防止法及び再犯防止推進計画に基づく再犯防止施策の重要性や BBS としての取り組み等について講話があり、非常に勉強になる研修会となりました。

2 日目は、「君の笑顔に会いたくて」の映画鑑賞があり、上映後、本映画の原作者でもある大沼えり子氏による「君の笑顔に会いたくて～映画制作にかけた想い」と題して講演がありました。映画制作のエピソードや少年たちとの関わり合いなどについて語られ、保護司や BBS 会員の存在の大きさを再確認することができました。

その後の式典においては、ご来賓の方からご祝辞を賜り、その席上、BBS 運動に対してご功績のある会員が表彰されました。



中部

平成 30 年度中部地方 BBS 連盟会員研修会

三重県 BBS 連盟 石川圭一

平成 30 年 11 月 24 日(土)から翌 25 日(日)、三重県津市にある三重マリンセンター海の学舎(まなびや)で、今年度の中部地方 BBS 連盟会員研修会を開催しました。

この日は多くのイベントが重なり、会員は 17 名の参加にとどまりましたが、日本 BBS 連盟の田中副会長を迎えて、中部地方更生保護委員会や津保護観察所の方にもご参加いただきました。研修一日目は、児童養護施設の児童と一緒にブロックづくりを行い、また BBS のイベント等に活かすべく、更生ペンギン・ホゴちゃんのバルーンアートに挑戦しました。

二日目は、まず冊子「ともだち活動をするみなさんへ」を用いて、保護観察官からともだち活動にあたっての心の持ち方などに関する講話を受けました。続いて、昨年度ともだち活動を行った学生会員から、学習支援のため会員 2 名が中学 3 年生の少年とかかわった活動発表がなされました。残念ながら進学には至りませんでしたが、少年には意欲的な一面が見られ、保護観察処分が解かれた今もその少年と交流を続けており、会員として貴重な体験ができたと報告がありました。



その後、鈴鹿医療科学大学の藤原正範教授から講演をいただきました。教授は、家庭裁判所調査官を退官後、司法福祉学等の多分野で活躍されています。また、勤務先の大学でも学生の BBS 活動に関わられ、講演では「施設での矯正よりも、難しいが社会内処遇の意義が深い」と話され、調査官時代の試験観察中の少年と学生ボランティアも参加して行ったキャンプ体験を懐かしく語られるとともに、更生保護制度の中の BBS 活動に大きな期待を寄せて講演を終えられました。



最後に参加者全員が車座となり、一人一人が研修の感想やいまの思いなどを語って閉会となりました。

近畿地方 BBS 連盟会員研修会

近畿地方 BBS 連盟 副会長 西倉正昭

11月24日・25日の二日間、和歌山にて38人が参加して近畿地方BBS連盟会員研修会が行われました。初日、和歌山市内にある和歌山ビッグホエールにて開催されていた『ふれあい人権フェスタ2018』に参加、百数十もの団体がブースを構える中、近畿地方BBS連盟・和歌山県BBS連盟・和歌山市BBS会・高野山BBS会も出展、また、薬物乱用防止『ダメ！ゼッタイ』の啓発活動があり、研修員も会場内でティッシュを配るなどの活動に参加しました。中でも、地球儀形をした薬物乱用防止キャンペーンのキャラクター『ダメ！ゼッタイ君』の着ぐるみが用意され、研修員がこの中に入り会場内を歩くという一幕もありました。

二日目は和歌山ダルクのスタッフによる講義及び施設見学を行い、講義では、薬物依存とはどのようなものか、どうして陥ってしまうのか、私たちはどう接すればよいのか等についてお話をいただき、その後和歌山ダルクの施設を実際に見学させていただきました。施設とはいうものの民家を改造した施設で、まわりの一般住宅と何ら変わりなく、普段の生活と同じように暮らせる事に参加者みんなが感心っていました。

以上のような内容の研修でしたが、初日の晩には、高垣会長によるBBS会組織運営のあり方についての講義、そして、懇親会と盛りだくさんの内容の研修でした。

今回は、ベテランの会員から将来のBBSを担ってくれる高校生スタッフまで幅広い年齢層からの参加があり、初めて近B研修に参加した会員からは「研修と聞いて机に座って講師の話を聴いたりするのかと思っていた。実体験したり施設見学と変化があってよかったです。他府県の会員と交流できてよかったです」との声が多く、充実した楽しい研修だったと思いました。



写真は人権フェスタの会場での高野山BBS会のブースおよび『ダメ！ゼッタイ君』と和歌山県PRキャラクター『きいちゃん』とのツーショット写真です。

第64回中国地方BBS大会

中国地方BBS連盟 会長 花之木憲一

11月17日（土）～18日（日）、広島市のJMSアステールプラザ広島市国際青年会館において、中国地方BBS大会が開催されました。日B連原田副会長が臨席し、中国5県の会員とともに関東からの参加もあり、80名のBBS会員が参加しました。

大会は、これまでBBS活動において顕著な功績のあった者に対する顕彰式典に始まりました。被表彰者代表謝辞では、「災害に見舞われた今年、多くの方面から支援をいただいた。私たちも、きょうの表彰を機に心新たにこれまで以上にBBS活動を進めていきたい」という決意が示されました。

式典に続き、広島県西部こども家庭センター児童虐待対応課長松岡良治氏による講演「児童虐待の現状及びその対応について」を聴き、急増し複雑化している児童虐待の現状について教示いただくとともに、子どもとどう接するべきかについて学ぶことができました。

続いて、研修Ⅰにおいて、子どもを取り巻く環境が違った場合、子どもとの接し方がどのように異なるかを班別討議形式で検討しました。9つの班それぞれに異なる3つのパターンの環境と異なる3つの時期に分かれての討議という構成で、最後の発表の際にその構成は明かされ、参加者は研修の奥の深さに驚いていました。

2日目は、工夫を凝らした伝言ゲームをモチーフにしたアイスブレイクによって、1日目の疲れもすぐに吹き飛びました。

そして、研修Ⅱでは、児童自立支援施設において生徒と接触しない非接触型のレクリエーションについて検討することとなり、棒を使用したカルタ取りや、柔らかいボールを利用し下手投げに固定したドッジボールを実践しました。参加者それぞれが、なぜ、非接触について検討する必要があるのかという原点から検討し、どの班でも実質的な議論ができていました。

また、レクリエーションでは、参加者全員が楽しみながら実践していました。参加者に対して行ったアンケートでは、「学習と実践をどちらも体験できた」「全体的にみんなが積極的に関わろうとしていた」など、概ね好印象でした。



北海道

第62回北海道地方BBS大会（第56回札幌管内BBS研究大会）

札幌BBS連盟会長 濱崎 はる江

11月17日、札幌第三合同庁舎1F共用会議室で本大会を開催しました。当初は、10月6日～7日、札幌市真駒内の北海道青少年会館コンパスで開催する予定で準備を進めていましたが、9月に発生した北海道胆振東部地震災害の影響で開催を延期し、規模を縮小して日帰りでの大会及び研修（スキルアップ研修）としました。参加会員は30名弱で、来賓20名にご臨席頂きました。

大会では、日本BBS連盟会長表彰、北海道地方更生保護委員会委員長感謝状、北海道地方BBS連盟会長表彰状、札幌保護観察所長感謝状が贈呈され、受賞者代表謝辞、来賓祝辞がありました。

大会終了後のスキルアップ研修は、研修生4名を含めて参加者全員が参加しました。若い会員だけではなく、年齢別にグループ分けをして、グループ討議型式で、①『ともだち活動』、②『BBSのいま・これから』の内容で討議を行いました。年代の違いで様々な意見を聞くことができたと思います。進行と講評は北海道委員会に引き受けて頂き、大変有意義な研修になりました。

<参加者の声>

- 札幌市BBS会 上杉雪華さん

スキルアップ研修は、とても勉強になりました！役場の職員しかいない会やともだち活動を積極的に行っている会など、活動内容に違いが見えました。悩みを他の地区会と共有することで今後の更生保護ボランティアの方向性なども話し合うことができました。学んだことを地区会に持ち帰ります！

- S G U江別BBS会 高野紗也香さん

ともだち活動のグループディスカッションで、私のグループでは6名中1名しか経験者がいませんでした。活動経験者に実際を聞くこともでき、初めに打ち解ける状況を作ることが大切だと分かりました。他のグループの意見で「なるほど！」と思ったのは、生活習慣の改善を期待されているというものでした。BBSは年齢層が広く、親の視点で・同年代の視点で意見交流できることから、今回のディスカッションはとても勉強になりました。また、保護司や観察所、家族もつながりを持つことで大きな意味を持つものだと学びました。会員で情報共有したいと思います。

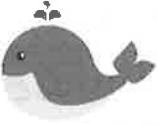


関東・四国

- 11月24日、25日の二日間、神奈川県鎌倉市において、関東地方BBS会員研修会が開催されました。



鎌倉から望む富士山→



- 四国大会は7月7・8日開催予定でしたが、台風のため中止されました。



早稲田大学広域BBS会の活動と課題

早稲田大学広域BBS会 会長 田中龍康

早稲田大学広域BBS会は、会員数100名前後の学域BBS会です。新宿区の地区BBS会としてだけでなく、BBS会が地元にない地区での活動にも取り組んでいます。主に5つの活動があります。一方で、活動の幅が広いがゆえの課題も抱えています。ここでは、みなさんに当会の主な5つの活動と、課題についてお伝えします。

活動の1つ目は、ともだち活動です。当会では保護観察所や保護司、NPO、小中学校などから依頼を受けています。非行傾向がある少年に留まらず、学校で孤立しかかっている少年や家で生きづらさを抱えている少年にも関わっています。時期によりますが、5~15件のともだち活動を行っています。

2つ目は、グループワークです。例年6月、9月、3月の年3回行っています。招待する少年は様々で、会員がともだち活動で関わっている少年や、懇意にしている保護司さんから紹介をうけた少年などを招待しています。最近だと、ボウリングやスイーツ作り、バーベキューなどを行いました。

3つ目は、健全育成活動です。母子生活支援施設や児童館など複数の児童福祉施設に学習ボランティアとして関わっています。のべ30名程度の会員が活動しています。

加えて、新宿区や文京区、江東区などの保護司会・更生保護女性会に協力させていただいて、子供向けの地域イベントでお手伝いをしています。10月に新宿区更生保護女性会主催でハロウィンキッズコンサートが開催されました。写真はその様子です。



4つ目は、自己研鑽活動です。毎月更生保護・児童福祉関連の研修会を開いています。その月に担当になった会員が発表を準備し、研修会の企画を行います。

例えば、2018年9月研修会では、「被害者の視点を取り入れた矯正教育」をテーマとしました。参加者によると、「実際に矯正施設で行われている贖罪指導の一つであるロールレタリングは、加害者が被害者の立場を想像して、自分あてに手紙を書くものです。今回、以下の二つの事例の加害者となってロールレタリングをしました」。写真はこの研修会の様子です。



その他にも、「児童相談所」、「発達障害と非行」、「保護司ってなんだろう」などをテーマとしています。

加えて、研修会として外部の勉強会に参加することもあります。最近だとおおたTSネットや「日本駆け込み寺」の講演会に参加しました。



5つ目は、「社会を明るくする運動」など、更生保護関連のイベント参加です。2018年には、有楽町駅前の「立ち直りフェスティバル」や新宿区の社明パレード、「法の日フェスタ」などに参加しました。写真は「法の日フェスタ」で、成人年齢引き下げに関するトークセッションに出たときのものです。

早稲田大学広域BBS会は、2018年で発足から20周年を迎えました。活動の幅が広がっているだけでなく、2018年5月には法務大臣意見交換会が開催されるなど当会への注目度も高まってきました。こうした実績は、個々の会員がひとりひとりの少年・子どもと向き合ってきたことと、関係機関の方々との信頼関係の上にあります。

一方で、多くの活動が個々の会員で行われるため会全体のまとまりは弱いです。会員同士が経験を共有したり、チームでまとめて何かを解決したりする機会は不十分です。また、他のいくつかの地区会のように、会 자체が子どものコミュニティを構築するということはありません。

少年・子どもに対してこの会はどのような行動をとることができるのでしょうか。あるいは個々の会員にとってこの会はどのような役割を果たすことができるのでしょうか。会として、関わる人ひとりひとりになにができるのか、再考の余地があると言えます。

☆早稲田大学広域BBS会は、ホームページ・Twitter・Facebookを運営しています。最近の活動について知りたい方はそちらもご覧ください！



第40回日本・中国青年親善交流事業に参加して

茨城県BBS連盟 会長 植竹智央

【はじめに】

日本・中国青年親善交流事業は、平成30年度内閣府青年国際交流事業の6つの事業の一つです。国際交流事業は、そのプログラムを通じて、世界で通じるプレゼンテーション能力、日本について対外的に発信する力、コミュニケーション能力、地域や集団における課題解決能力、訪問国要人表敬を通して身につけるグローバルな視点が養われることが期待されています。私は、日本BBS連盟に参加申込書を提出し、選考の結果、このプログラムに参加することになり、7月に4日間の事前研修を受けました。

日本・中国青年親善交流事業は、日中友好条約が締結された1978年から実施され、今回が40回目となります。日本青年と中国青年との交流を通じて、青年相互の友好と理解を促進し、青年の国際的視野を広げ、国際協調の精神、実践力やリーダーシップの向上を、日本と中国両国政府が共同で実施することがこの事業の目的です。さらに、日本と中国両国の青年が、互いの文化や社会情勢、ライフスタイル、ボランティア、働き方などをプレゼンテーションしたり、ディスカッションしたりし、両国の歴史的な文化遺産の見学、先進技術を研究している施設の見学、ホームステイなどで交流することなどが組み込まれています。

今年(平成30年)は、8月21日から9月1日まで中国の青年の代表団が訪日し、10月23日から11月3日まで12日間、日本の青年25名を含む30名が中国に派遣されました。

ここでは、この事業で滞在した中国の4都市の中で印象的だったところと全体の感想を報告します。



北京・分科会

【北京】

北京では、日本大使館や全国青年連合会(中国共産党の母体)を表敬訪問しました。北京外語大学での日中友好条約締結40周年フォーラムに参加し、分科会でディスカッションしました。抗日記念博物館、紫禁城の見学、コワーキングスペース "Krspace" の視察、中国の起業家のプレゼンテーションを拝聴しました。

最も印象深かったのは、コワーキングスペース Krspace の視察と中国の起業家のプレゼンテーションでした。Krspace では、近年の日本の若者のように「フリーランスで自分のやりたいことを形にしよう」という思いを持った若者が多く、その需要が増加しているように感じました。Krspace での起業支援プログラムから起業した方にプレゼンテーションをしていただきました。内容より実績を伝えることに一生懸命になっているようで、個人的なことを言うならば、「聴き手を意識したプレゼンテーション」を中国人は苦手にしているようにも感じました。



北京・表敬訪問



Krspace

【西安:陝西省】

西安では、西安第二外国語大学で大学生と文化交流しました。西安国際貿易物流センター、兵馬俑、西安高新技术産業開発区を視察し、ホームステイを行いました。

西安で印象に残ったのは、一泊二日のホームステイ中に訪れた夜間の西安市街です。ホームステイ先の学生は、日本語学部で日本のアニメやドラマに関心を持っていました。彼は夕食後、西安市街を地下鉄やタクシーを利用して私たちを案内してくれました。

西安の有名どころの大雁塔の広場では、夜でも多くの中国人が集まり、踊りを踊ったり、太極拳を行っていたり、広場は人々が集まるコミュニティになっていました。

日本では、普通は、夜に集まってお互いに知っている踊りを踊ったりすることはないのですが、中国では多くの人がその踊りを知っているようで、飛び入り参加していました。こういった共通の文化が中国にあるのは、日本のように各人が多様化したために孤独になってしまったり、SNSを通じた人間関係に依存したりしないという点で面白い違いと思いました。



西安・鼓楼



西安・大雁塔の夜景



西安・兵馬俑



宝鶏・懇親会

【宝鶏:陝西省】

宝鶏では、宝鶏文理学院で大学生と文化交流しました。宝鶏工作機械グループ有限会社の工場、東嶺コミュニティと青年の宿場クラブの視察を行いました。

西安から高速鉄道で移動した先の宝鶏で印象に残っているのは、この派遣中最大の歓迎会が実施されたことです。陝西省の各地から踊り子、琴や三弦の演者、切り絵職人が来て演技しました。切り絵を仕事にしていることは日本では聞いたことがなかったのですが、彼らの技術力の高さに驚きました。



成都・NPO法人と意見交換

【成都:四川省】

成都では、成都理工大学で文化発表会があり、ボランティアと起業のテーマでディスカッションしました。大学内の施設を見学し、パンダ繁殖研究基地を訪ね、高新区「青年の家」:若者活動基地を視察し、NGOと防災について意見交換しました。

成都で印象に残ったのは、ボランティアと起業のテーマでのディスカッションです。成都理工大学のボランティアの精銳たちの熱い思いを受けた後、日本側の意見を求められました。今回の派遣団で、ボランティアに精通しているのは自分一人だったので、私は、自分のボランティア経験やBBSとして関わっている貧困家庭の子供たちの学習支援活動について話をさせていただきました。

【全体の感想】

今回の派遣団で私が感じたのは、中国人のホスピタリティと日本への関心の高さです。中国人の通訳や案内の学生は、私たちに親身になってくれて、質問したそなにしている時などは私たちに声をかけて、通訳してくださいました。また、大学生たちが自分たちの母国語でない日本語を使って、「環境」のテーマでディスカッションをした時には、彼らの能力の高さと同時に「こんなに日本に関心を持ってくれてありがとうございます」という思いになりました。

私は、今回の派遣の経験を生かして、若手BBS会員の一人として、茨城県や自分の地区の活動を積極的に今回派遣で訪れた中国、海外に広げていくよう尽力していきたいです。

この中国派遣の事業は毎年行われているので、ぜひ学生で海外に関心がある方は応募し参加してください。



皆さんこんにちは

—留学生のBBS活動—

島根県・松江地区BBS会 ゾ ヘジン

韓国で日本留学の夢を持って日本語を勉強し、島根大学に留学してもう2年がたちます。私は島根大学で生命工学を勉強し、BBSサークルを通してボランティア活動をしています。専門外のボランティア活動をしていることが意外だという人がいます。しかし、韓国でもボランティア活動をしながら感じたのは、ボランティアは、専門や年齢や性別に関係なく、自分という存在が何かの助けになりたいという気持ちさえあれば十分できるということです。この理由から日本でもボランティア活動をずっと続けていきたいと思いました。ボランティアサークルを探していた私に、先輩がBBSを紹介し、学内のサークルイベントでBBS活動について聞き、入会しました。



島根県・松江地区BBS会は島根大学生約20名が活動しています。主な活動を挙げます。

- ・家族 de 日曜日 in カラコロ工房:カラコロ工房(旧日本銀行松江支店・観光施設)が行う月1回のイベントで、子どもたちとバルーンアート作りを通して一緒に遊ぶ。
- ・こっころサンデーin こそけん:いつしょに子育て研究所(こそけん)のイベントに協力し、子どもたちと一緒に遊んだり工作をしたりする。
- ・寺子屋活動:更生保護施設で、年2回、地域の子どもたちを対象にレクリエーションを実施すると同時に、子どもたちの親御さんに更生保護施設についての理解促進も目的としている。主催は松江地区BBS会です。
- ・松江市青少年支援センターの依頼で、非行少年や困難を抱える子どもたちの学習支援を行っています。学習支援がメインですが、本活動は非行、二一、ひきこもり、不登校、障害など様々な困難を抱える子どもの相談や支援という面に重きを置いています。学習支援のみに固執することは望ましくないと考えます。

BBSに入って1回生が終わるぐらいまでは、正直なところ、BBSについてよく分からなかった。しかし、どんどん活動をしながらBBSについて学ぶようになり、今はサークルの会員と一緒に、今後の活動の改善点についても話せるまで成長きました。

松江地区BBS会はもちろん、研修会に行っても、外国人は私一人で、在日している外国人にBBSという存在が届いていないと感じました。私も、最初は、日本人が活動するボランティア団体に外国人が入ったら迷惑ではないかと思ったときがありました。その中で私に何ができるか、コミュニケーションはできるだろうか迷いました。それで、自分の経験から、外国人が活躍できる活動を企画し、地域の外国人団体と連携して活動したら、自然と外国人会員も増えるのではないかと思います。

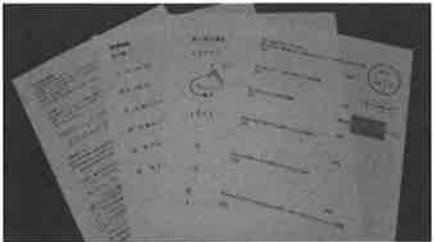
—学生の強みを生かす—

京都BBS連盟左京地区BBS会 4回生 田中心

京都BBS連盟の大きな特徴は、会員のほとんどが学生であり、活動の企画や運営、組織の維持にかかわる様々な業務に学生が主体となって取り組んでいることです。「少年にとってのよき兄・姉のような存在として関わる」というその理念に照らせば、少年と比較的年齢の近い大学生が中心となって活動することの意義は大きく、そのことを少年との関わりの中でも日々実感すると同時に、学生主体で組織を運営していくことの難しさを感じます。

京都の活動のひとつに少年院での学習支援活動があります。少年院を訪問し、そこで授業に入させていただいて院生の学習補助にあたるという活動で、大学生の強みを生かした活動と言えると思います。学習支援の際には上からものを教えるのではなく、一緒に問題を解くような姿勢で関わるように心がけており、ときには院生に交じってグループワークやレクリエーションに参加することもあります。「教える先生」としてではなく「一緒に学ぶ仲間」として関われるところは、学生の強みだと言えるのではないでしょうか。

現在は少年院だけでなく少年鑑別所や家庭裁判所などの複数の施設を訪問させていただいており、学習支援活動やレクリエーションを通しての交流等、様々な形で少年と関わらせてもらっています。学生のうちにできる経験としては非常に貴重なものであり、そういった活動に魅力を感じてBBSに入会する会員も毎年少なくありません。ただ、活動に対して熱心であればあるほど多くの役職を受け持つてしまい、活動以外のところでの雑務が増えてしまいかがです。「少年院の活動に参加したくてBBSに入ったけれど、役職の仕事に手一杯であまり活動に参加できない」といった声を聴くたび、残念な気持ちになります。



同じような課題は、京都以外の学生会員からも耳にします。全国のBBS会に共通の課題として、学生が参加しやすいような仕組みづくりに取り組んでいく必要があるのではないかでしょうか。私自身は今年で大学を卒業します。これまでの経験を後輩に受け継いでいきつつ、今後は学生が活動しやすくなるようなサポートの在り方を考えていきたいです。

少年院での学習支援活動では、先輩が活動のためには作成したプリントを補助教材として使用しています。



KYOTO CONGRESS
2020

京都コングレスロゴマーク

Youth Forum 開催！



Youth Forum って？

第14回国際連合犯罪防止刑事司法会議

(京都コングレス)に付属する会議で、

法務省が主催しBBSはこれに参画します！

世界各国の高校・大学生など青年と議論します。

～BBS会員参加者募集中！～

開催時期：2020年4月（平日・3日間）

開催会場：国立京都国際会館（京都市左京区）

●応募資格など

- ・募集人数：5～10名
- ・応募時にだいたい24歳以下の方
- ・BBS会員、または入会し継続して活動する意欲のある方
- ・英語で議論可能な方（通訳なし）
- ・犯罪防止・刑事司法または国連分野に関心のある方（大学の専攻は問いません）
- ・募集〆切：2019年4月10日
- ・参加者決定：2019年5月10日

国際舞台で活躍・海外の友人づくり・社会人にとつてさらに必要なとなる国際感覚を身に着けるチャンス！

詳しくは、日本BBS連盟ホームページを！

<http://bbs-japan.org/>

国際連合犯罪防止刑事司法会議（コンгресス）

United Nations Congress on Crime Prevention and Criminal Justice とは？

コンгресスは、5年に1度開催される犯罪防止・刑事司法分野における国連最大の国際会議で、第13回は2015年に、カタールの首都ドーハで開催。Youth Forumはドーハが初回です。

BBS参加者は何をするの？

▼BBS運動を世界の青年へ

プレゼンテーション

▼「青少年犯罪の予防・罪を犯した青少年の社会復帰における若者の役割」というテーマについて世界の青年と議論し、勧告を探査

▼参加者は、2019年9月18～20日に、オーストラリア・シドニーで開催される、第4回世界保護観察会議に参加し報告

（シドニーへの旅費・宿泊費は更生保護法人日本更生保護協会が負担してくださいます）

ユースフォーラム参加者応募の説明会

（広島）2月23日(土) 16時～17時 中国地方更生保護委員会

（京都）2月24日(日) 午前中 京都女子大学

（名古屋）3月1日(金) 15時～16時 中部地方更生保護委員会

（福岡）3月2日(土)～3日(日) 久留米大学(第6回学生BBS会員全国研修会)

（東京）3月9日(土) 13時～14時 更生保護会館(事前登録不要)

東京会場以外、参加希望者は事前登録が必要です。次の問合せ先に連絡してください。

問合せ先 法務省保護局更生保護振興課(担当:森川、武内)

内閣府の国際青年交流事業

内閣府青年国際交流担当室では、国際交流を通じた相互の理解と友好の促進を目的として、「青年の船」事業など6つ青年国際交流事業を行っています。2019年度の事業については、3月頃に内閣府ウェブサイトで参加青年の募集が始まります。応募者は、都道府県の青年国際交流主管課又は全国的青少年団体(日本BBS連盟を含む)に参加申込書等を提出する必要があります。応募する事業によって年齢制限や語学要件が異なりますので、詳しくは内閣府ウェブサイトで確認してください。

お知らせのページ

内閣府「チャイルド・ユースサポート章」受彰

八尾地区BBS会会长 鈴木哲也

この度、われわれ八尾地区BBS会の活動が、「子供と家庭・若者応援団活動事例」として紹介されることになり、内閣府特命担当大臣から「チャイルド・ユースサポート章」として、記念の盾を授与され、その趣旨を記した書状が交付されました。

この章は、子供・若者を育成支援する活動及び子育てと子育てを担う家族を支援する活動を広く紹介することにより、同様の活動を行っている人やこれから行おうとする団体の参考に供することを目的として今後内閣府が広報・啓発を行うものとされています。

われわれの活動が内閣府により広報され、活動内容が広がればBBS活動の広報にもなり、非行のある少年の改善更生に協力いただける輪が広がることと思いとても嬉しく思っております。

少しだけ我々の活動を紹介させていただきます。八尾地区BBS会は、ボクシングを取り入れたグループワークを中心に行なっています。ボクシングに取り組むことで、少年には闘争心などが心の中に湧きあがり、その気持ちはやがて前向きな気持ちに変わっていきます。そして、少年たちは真剣に取り組む大切さを教わるとともに、自身の成長を感じられる居場所となっていきます。居場所を得た少年は再非行することが減っているように思います。ともだち活動をしている保護観察中の少年の居場所にもなっています。フェイスブックもしています。是非見学に来てください。



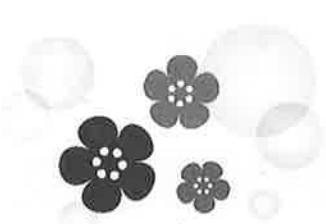
平成30年安全安心なまちづくり関係功労者内閣総理大臣表彰式（佐賀地区BBS会）

10月11日(木)、総理大臣官邸において、安全安心なまちづくりに貢献された団体等に対する内閣総理大臣表彰式が行われ、再犯防止活動分野では、佐賀保護観察所から推薦された佐賀地区BBS会が受彰しました。

本表彰は、長年にわたり、全国の模範となる安全安心なまちづくりに関する優れた取組を続け、その功績が顕著な団体等に感謝の意を表し贈呈するものです。再犯防止推進計画において、再犯防止活動を行う民間協力者に対する表彰の充実が掲げられたことを受けて、従来からの「防犯活動」分野に加え、本年度新たに「再犯防止活動」分野が設けられ、当該分野から、佐賀地区BBS会、地区保護司会や更生保護施設など8団体が受彰しました。

表彰式では、山下法務大臣も参列の下、安倍総理大臣から代表受彰者に対して表彰状が贈呈されました。最後に、出席者全員で記念撮影を行い、終始和やかな雰囲気で表彰式は終了しました。

なお、受彰者は、表彰式の前に、法務省幹部との茶話会や法務大臣表敬に参加していただきました。



表彰式出席者との記念写真

(写真に向かって中央に安倍総理大臣、右隣りが山下法務大臣、中段右列2人目が佐賀地区BBS会の藤佐代表)

無尽灯

70周年あれこれ

昨年(平成29年、西暦2017年)9月に、日B連主催で皇太子殿下同妃殿下をお迎えしてBBS運動発足70周年記念式典を盛大に行いました。会員の皆さんには、BBS運動の原点を確認し、戦後の混乱期の状況と現在を比較し、新たな決意を持って様々な問題に種々取り組まれていることと思います。

本年(西暦2018年)は、日本史レベルでは、明治維新(西暦1868年)150周年に当たります。また、更生保護の歴史の分野では、現在の更生保護制度の根幹となる「犯罪者予防更生法」が昭和24年(西暦1949年)5月に成立し、同年7月1日に施行されました。すなわち、平成31年(2019年)は更生保護制度施行70周年を迎えることとなります。これは、1947年5月3日、現在の憲法が施行されたことに伴い、刑法、刑事訴訟法の他、刑事法の分野で様々な法律について憲法の理念に照らして、見直しが行われた結果の一つといえましょう。このように、更生保護の分野において、70周年記念行事が平成31年も続きます。また、平成31年4月30日には現在の天皇が退位され、同年5月1日に天皇の即位が予定されています。新元号は1週間ほど前に公表される予定のことです。明治、大正、昭和及び平成の後は、どのような元号になるか興味が持たれます。このような状況の下で、2019年秋に予定されている記念大会においては、BBS会員のみならず、保護司会、更生保護女性会、協力雇用主、更生保護施設の方々など関係者全員で「つづける、つなげる、つぎの手に」のキー・コンセプトを再度確認し、更生保護制度施行70周年を盛大に祝いたいと思います。

(平成30年12月記)

*むじんとう【無尽灯】…仏の教えが次々と伝わって尽きないことを、一つの灯火が無数の灯火になることに例えている語

お知らせのページ

受賞おめでとうございます！！

30年度「日本BBS連盟会長表彰」受彰の皆さまです！(敬称略)
表彰式は各地連大会で行われます。

県連盟	氏名	県連盟	氏名
札幌	斎藤 竜介	岡山	小内 哲夫
福島	長沢 幸二	徳島	西岡 賦文
山形	佐藤 瑞樹	大分	平川 祐治
静岡	本間 雄大	鹿児島	森 洋行
石川	中川 和信	沖縄	長田 知佳
兵庫	八軒 雅彰	静岡	三島地区BBS会
山口	中村 信篤	岐阜	大垣地区BBS会
広島	坂本 結里	三重	松阪市BBS会

平成30年度「記念碑のつどい」実施

日本のBBS運動発祥の地「記念碑のつどい」実行委員会(石黒忠夫実行委員長)は、次のとおり「つどい」と「交流会」を行います。

「つどい」 平成31年2月24日(日)午前11:30~12:00 京都女子高等学校正門前

(記念碑の文字盤は、これまでの文字盤をもとに、ステンレスに彫刻しなおしました。)

「交流ランチ会」 同日 12:30~15:00 ホテル東山閣

問合せ先 藤佐美幸事務局長まで

ホームページ「会員むけ情報」の「BBS会員のUターン&Iターン登録フォーム」

ホームページ「会員むけ情報」の「BBS会員のUターン&Iターン登録フォーム」について
「卒業後も、どこかでBBSを続けていきたい。」

「今度赴任する勤務地に、活発なBBSの地区会はあるのか

「地元にUターンするけど、近所にBBS会はあるの?」しら?

などBBS会員の方で、UターンやIターン等で異動先でもBBSを継続したい、または情報を知りたいという問い合わせが、多数寄せられます。BBS連盟事務局が、希望先の連盟や地区会へマッチングを行います。学生会員が在籍する地区会、都道府県連盟におかれましては、ぜひこのページをご紹介ください。